

## 平成29年度理事(中山間対策・運輸担当)予算見積総括表

### 一般会計

平成29年度予算見積額	2,360,538 千円
平成28年度当初予算額	2,174,648 千円
差引増減額	185,890 千円
対前年度比率	108.5 %

(注)上記には、人件費を含まない。

# 平成29年度 産業振興推進部（中山間対策・運輸担当理事所管） 施策体系表

「生活を守る」「産業をつくる」を柱とした中山間対策の推進及び公共交通の維持確保・活性化

(単位：千円)

細目事業名	H28当初 予算額	H29当初 見積額	増減 (H29 - H28)	新規・拡充・廃止・組替事業等	担当課名
<b>1. 中山間対策の推進</b>	<b>663,290</b>	<b>687,069</b>	<b>23,779</b>		
(1) 中山間対策の総合調整	12,792	12,970	178		
中山間地域振興費	12,792	12,970	178	【廃止】集落調査	中山間地域対策課
(2) 集落の維持・再生に向けた仕組みづくりの推進	357,639	309,539	-48,100		
地域の元気応援事業費	77,485	42,548	-34,937	【新規】集落の活力創生事業 【廃止】地域づくり支援事業	中山間地域対策課
集落活動センター推進事業費	280,154	266,991	-13,163		中山間地域対策課
(3) 将来にわたり暮らし続けることができる 生活環境づくりの推進	292,859	364,560	71,701		
中山間地域生活支援総合事業費	292,859	364,560	71,701	【増額】生活用水確保支援事業	中山間地域対策課
<b>2. 鳥獣対策の推進</b>	<b>602,679</b>	<b>662,893</b>	<b>60,214</b>		
(1) 総合的な野生鳥獣の被害対策	559,323	610,836	51,513		
鳥獣被害対策事業費	559,323	610,836	51,513	【拡充】鳥獣被害対策専門員配置事業 【組替・拡充】野生鳥獣に強い県づくり事業費補助金 【拡充】狩猟担い手確保育成事業 【増額】鳥獣被害防止総合対策交付金 【廃止】・三嶺シカ捕獲支援事業 ・サル捕獲技術研究事業 ・第二種特定鳥獣管理計画策定事業 【翌年度の交付金化】シカ個体数調整事業	鳥獣対策課
(2) 野生鳥獣の保護及び狩猟の適正化の推進	43,356	52,057	8,701		
鳥獣保護対策費	43,356	52,057	8,701		鳥獣対策課
<b>3. 公共交通の維持確保・活性化</b>	<b>908,679</b>	<b>1,010,576</b>	<b>101,897</b>		
(1) わかりやすく使い勝手の良い公共交通の実現に 向けた取り組み及び路線の維持・確保への支援	779,638	888,429	108,791		
交通運輸政策推進費(1)	23,455	22,036	-1,419		交通運輸政策課
地域公共交通対策事業費(1)	621,532	755,325	133,793	【新規】地域交通バリアフリー化推進事業 【新規】公共交通多言語対応等推進事業	交通運輸政策課
広域公共交通対策事業費	75,999	75,068	-931	【新規】航空需要予測調査事業 【拡充】フェリー利用促進特別対策事業	交通運輸政策課
国直轄空港整備事業費負担金	58,652	36,000	-22,652		交通運輸政策課
(2) 広報・啓発等を通じた公共交通の活性化	25,955	19,061	-6,894		
交通運輸政策推進費(2)	7,900	7,759	-141	【新規】四国の新幹線啓発事業	交通運輸政策課
地域公共交通対策事業費(2)	18,055	11,302	-6,753	【廃止】広報推進事業	交通運輸政策課
(3) 運輸事業の振興に資する事業を実施する団体 への支援	103,086	103,086	0		
交通運輸政策推進費(3)	103,086	103,086	0		交通運輸政策課
<b>部 合 計</b>	<b>2,174,648</b>	<b>2,360,538</b>	<b>185,890</b>		

# 平成29年度 理事（中山間対策・運輸担当）予算見積概要

## 当初予算見積額

※人件費は含まない。単位：千円

項目	平成29年度 当初予算見積額	平成28年度 当初予算額	増減
一般会計	<b>2,360,538</b>	<b>2,174,648</b>	<b>+185,890</b>
中山間地域対策課	687,069	663,290	+23,779
鳥獣対策課	662,893	602,679	+60,214
交通運輸政策課	1,010,576	908,679	+101,897

## 平成29年度予算見積のポイント

### 「中山間地域の生活を守り、産業を育む高知県」を目指して！

平成29年度は、高齢者の暮らしを守り、若者が住み続けられる中山間地域の実現に向けて、中山間対策の更なる強化を図るとともに、日常生活や産業を支える基盤として重要な公共交通を維持・確保するよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

### 中山間対策の推進

1

- 中山間地域の活性化に向け、中山間総合対策本部を中心として、中山間対策の実効ある取り組みを推進します。
- 中山間地域の持続的な発展を目指し、産業振興計画との連携、集落活動センターを核とした集落維持・再生の取り組みの拡充・確立、生活用水や移動手段の確保などの生活環境づくりを、市町村と一体となって推進します。

### 鳥獣対策の推進

2

- 被害額の大幅な減少を目指し、有害鳥獣の防除、捕獲等の総合的な被害対策を推進します。
  - ・野生鳥獣に強い高知県づくりに向けた集落ぐるみの取り組みの強化
  - ・有害鳥獣捕獲強化に向けた狩猟者の確保と育成等



### 公共交通の維持確保・活性化

3

- わかりやすく使い勝手の良い公共交通の実現に向けた取り組み及び路線の維持・確保への支援を行います。
- 広報・啓発等を通じ、公共交通の活性化を図ります。



## 1 中山間対策の推進

### (1) 中山間対策の総合調整

○ 中山間地域振興費 12,970 千円

- ・ 中山間地域の活性化に向け、中山間総合対策本部会議を開催するなど、庁内の関係部局や市町村との連携のもと、実効ある取り組みを推進
- ・ 過疎地域自立促進特別措置法や離島振興法などに基づき、地理的、財政的に条件が厳しい地域に対する施策を、国や全国の団体等とも連携を図りながら推進

### (2) 集落の維持・再生に向けた仕組みづくりの推進

○ 地域の元気応援事業 42,548千円

#### **新** 住民活動のさらなる活性化の推進

- 住民が主体となって取り組む集落の活性化、経済活動の推進、生きがいづくりの創出など、新たな取り組みの掘り起こしを推進
- ・ 集落の活力創生事業〔35,000千円〕

○ 集落活動センター推進事業 266,991千円

#### **拡** 集落活動センターの取り組みの推進

地域の課題解決に向けた集落活動センターの取り組みに必要な、ハード・ソフト経費や立ち上げ準備・活動に従事する者の人件費への支援に加えて、新たにセンターのネットワークづくり支援を実施〔254,281千円〕

#### **拡** 集落活動センター情報発信事業

集落活動センターのさらなる掘り起こしに向けて、年間を通じた取材広報や、農家レストラン等の活動内容をまとめたパンフレットの作成・配布等を新たに実施することにより、情報発信を強化〔5,602千円〕

#### 高知ふるさと応援隊推進事業

高知ふるさと応援隊の、地域での活動に必要な知識やスキルの習得、隊員同士の情報交換及びネットワークづくりの場を提供する研修会を実施〔7,108千円〕

### (3) 将来にわたり暮らし続けることができる生活環境づくりの推進

○ 中山間地域生活支援総合事業 364,560千円

中山間地域で安心して暮らし続けることができる生活環境を整えるため、市町村等が進める多様な取り組みに必要なハード整備事業や、新たな取り組みの試行等にかかる経費を支援

- ・ 生活用品確保等支援事業〔 2,221千円〕
- ・ 生活用水確保支援事業〔292,101千円〕
- ・ 移動手手段確保支援事業〔 70,238千円〕

## 2 鳥獣対策の推進

### (1) 総合的な野生鳥獣の被害対策 610,836千円

野生鳥獣による農林業や自然植生への被害を防止するため、有害鳥獣の捕獲、防除等総合的な被害防止対策を推進

#### ○ 野生鳥獣に強い県づくり事業

**拡** (環境整備) 鳥獣被害対策専門員配置事業委託料 54,680千円

鳥獣被害対策専門員の体制を強化

(防除) 鳥獣被害防止総合対策交付金(国) 435,996千円

農林業被害等を防止するための防護柵の設置や捕獲報償金の支給

**拡** (防除) 野生鳥獣に強い県づくり事業費補助金 56,267千円

国の交付金を活用できない農地や捕獲機材の導入などへのきめ細やかな支援

#### ○ 捕獲の担い手確保育成

**新** 狩猟技術伝承DVD制作事業委託料 2,167千円

・ 狩猟者の効果的な捕獲方法を収録したDVDを制作し、高度な狩猟技術の普及を促進

**新** 森林地域シカ捕獲体験事業委託料 2,984千円

・ 免許取得希望者等を対象とした捕獲体験ツアーを実施し、捕獲の担い手の確保育成を促進

新規狩猟者確保事業費交付金 5,850千円

・ 有害鳥獣捕獲の担い手となる新規狩猟者を確保するため、狩猟免許取得に係る講習会受講料や銃の所持のための射撃教習料を支援

**新** くくりわな捕獲推進事業補助金 10,000千円

・ シカの捕獲を推進するためくくりわなの購入経費を支援

#### ○ 指定管理鳥獣捕獲等事業

指定管理鳥獣捕獲等事業委託料 8,062千円

・ シカによる自然植生被害等が深刻化している山岳地等の捕獲困難地域で、認定鳥獣捕獲等事業者へ委託してシカの捕獲を実施

### (2) 野生鳥獣の保護及び狩猟の適正化の推進 52,057千円

鳥獣保護対策事業費 10,759千円

・ 県内に生息する野生鳥獣の種類、分布状況、生息数等を的確に把握し、鳥獣の保護対策を実施  
・ 愛鳥思想の普及に向け、野鳥とのふれあい教室等を実施

鳥獣行政一般管理費 41,298千円

狩猟制度の徹底や狩猟者への指導等による適正で安全な狩猟体制づくりの推進



### 3 公共交通の維持確保・活性化

#### (1) わかりやすく使い勝手の良い公共交通の実現に向けた取り組み及び路線の維持・確保への支援 888,429千円

**地域の交通維持支援事業費補助金** 55,200千円

地域の生活を支える路線バス、鉄軌道などの移動手段を確保するため、路線維持に必要な施設整備や、路線再編等に必要な実証運行などに要する経費の一部を補助

**バス運行対策費補助金** 250,016千円

広域的バス路線の維持及び活性化のため、国及び市町村と協働して路線の維持に要する経費や利用促進の取り組みを支援

**四万十市鉄道経営助成基金負担金** 150,000千円

土佐くろしお鉄道中村・宿毛線の経営安定のため、関係市町村と協調して基金を造成

**安全安心の施設整備事業費補助金** 143,254千円

鉄軌道の事業者が行う安全性・利便性の向上のための施設整備に要する経費の一部を補助

**新 地域交通バリアフリー化推進事業費補助金** 32,700千円

障害者や高齢者などが公共交通を利用しやすい環境を整備

**新 公共交通多言語対応等推進事業費補助金** 55,420千円

外国人の二次交通の円滑な利用に資する公共交通情報の多言語対応等を加速化

**航空路線利用促進事業委託料** 16,534千円

高知龍馬空港の就航路線の活性化のため、航空会社の持つ全国区の情報発信力を活用した高知県のPRや誘客などを実施

**拡 フェリー利用促進特別対策事業費補助金** 8,953千円

宿毛・佐伯航路の利用促進のため、トラックの利用料金の割引相当額に対するこれまでの補助に加え、利用増を促すために新たな補助を追加

#### (2) 広報・啓発等を通じた公共交通の活性化 19,061千円

**公共交通利用促進啓発事業委託料等** 19,061千円

公共交通の活性化に向け、利用促進の取り組みを行う団体への支援やマスメディアを活用した啓発活動などを実施

#### (3) 運輸事業の振興に資する事業を実施する団体への支援 103,086千円

**運輸事業振興費補助金・バス事業振興費補助金** 103,086千円

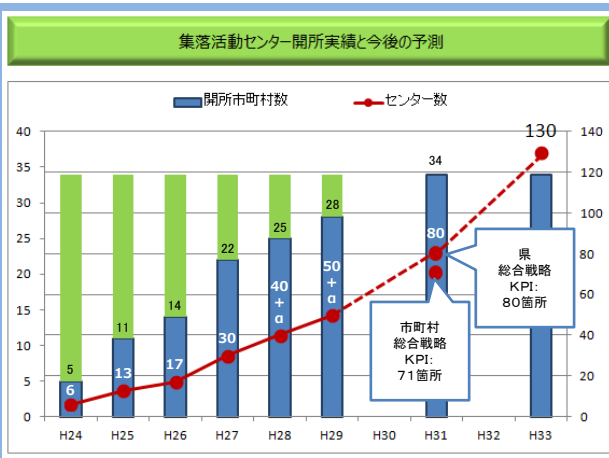
高知県トラック協会及び高知県バス協会が行う交通安全対策事業、サービス改善事業などに要する経費を補助

# 集落活動センターを核とした集落の維持・再生の仕組みづくり

## これまでの取り組み(成果)

### 【量的拡大】

○県内各地域への着実な広がり



### 【質的向上】

- 経済活動の活性化
  - ・チムシルバン・レストラン来客数: H27年度3,548人 (H27.3 オープン、梶原町初瀬)
  - ・農家食堂・Cafe「イチョウノキ」来客数: 995人 (H28.9未現在) (H28.5 オープン 土・日・祝日営業、津野町郷)
  - ・汗見川ふれあいの郷清流館宿泊者数: H27年度983人 (H26年度948人、本山町汗見川)
  - ・やまびこカフェ営業日数: 週6日営業 (H28.4 開業時週1日、三原村)
  - ・西川花祭り来場者数: H28.3 約12,000人 (H27.3 約6,000人、香南市西川) など

- 産業振興計画と連携した取り組みの本格化
  - ・農業法人設立によるシントウ栽培 (三原村)
  - ・杉苗の栽培 (大豊町西峯)
  - ・特用林産 (マイタケ) の栽培 (いの町上本川)
  - ・森の教習所 (土佐町石原) など

- 支え合いの仕組みの充実
  - ・四万川給油所利用者数: H27年度10,586人 (H26年度9,780人、梶原町四万川)
  - ・地域の支え合いによる葬祭事業の実施 (四万十市大宮) など

- 集落の維持 (選ばれる地域に)
  - ・人口増加地区: 柳野、若年人口増加地区: 大宮
  - ・集落活動センター開所地区人口減少率: △3.9% (所在市町村平均: △4.3%) (平成26年度まで開所17地区 住基ベース: H26→H28)

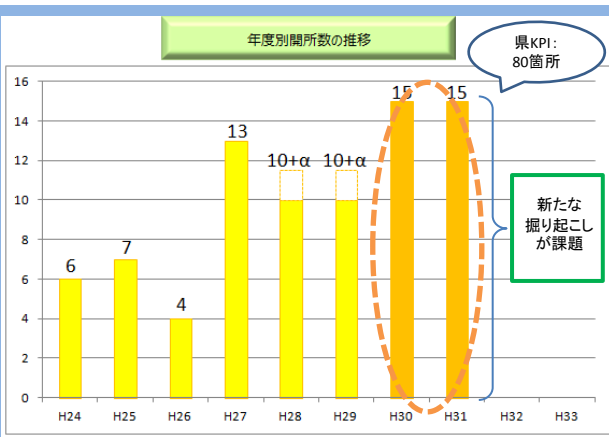
### 【下支えの取り組み】

- 集落活動センターの取り組みへの理解度の向上
  - ・パンフレットの作成・配布: 8,000部
  - ・その他PR活動の強化: 広報番組や中心商店街でのPR、ポータルサイトの運営等
- センターのネットワークづくりと人材育成・確保
  - ・連絡協議会の発足: センター間の相互交流の活発化
  - ・事業計画作成研修: 連絡協議会と県の共催で実施
  - ・アドバイザーの活用: 28回派遣

## 課題

### 【量的拡大】

・当面(H29年度まで)は10箇所+αで立ち上がる見通しであるが、さらなる広がりに向けた、新たな掘り起こしが必要



- 立ち上げには時間を要するため、新たな候補地掘り起こしや住民活動の活性化に早急に取り組むことが必要
- 幅広い層に対しセンターの機能や効果、成功事例を一層周知していくことが必要

- ◆取り組みに慎重な市町村 ⇒ ◇政策レベルでのベクトル合わせを丁寧に行う
- ◆機運の盛り上がらない地域 ⇒ ◇わかり易い成功事例の紹介
- ◆センターを認知していない地域 ⇒ ◇興味を呼び起こす情報の発信

### 【質的向上】

・多様な背景・活動に応じたきめ細かな支援の徹底が必要

- 経営の視点を活動に生かす
  - ・キャッシュフローを意識した事業計画の策定
  - ・法人化によるメリットの認知
  - ・生活支援事業においても事業の継続性の意識

- 人材の育成・確保 ※人口20,161人、世帯数9,724世帯、高齢化率43.7% (30センターの合計、高齢化率は人口による加重平均値)
  - ・新たな活動に対応できる人材の育成が急務
  - ・地域アクションプランに関わる地域の事業者等とのネットワークの構築が重要
  - ・提案型の外部人材確保の取り組みの検討

- 多様な活動に対応したアドバイザーのさらなる活用
- 連絡協議会の活動の充実

## 方向性



I  
さらなる掘り起こし



II  
活動の継続と拡充に向けた後押し



## H29年度の取り組み

### 掘り起こし

- 新たな掘り起こしのための事業の創設・拡充
  - ・集落の活力創生事業費補助金
    - 住民が主体となって取り組む集落の活性化や、経済活動の推進などに係る経費を支援
    - 集落活動活性化事業: 補助率定額 (限度額500千円)
    - 集落の活力創生事業: 補助率1/2以内 (限度額20,000千円)
  - ・集落活動センター推進事業費補助金
    - 人材導入活用事業の補助対象時期の前倒し (開所1年前の制限を無くす)
- 市町村とのさらなる連携強化
  - ・中山間対策に係る市町村長との個別の意見交換を定例化
- 成功事例の発信
  - 産業振興計画と連携した取り組み事例の周知
  - 県民の関心を引く年間を通じた広報活動
    - ・女性をメインターゲットに、「食」の情報を絡めて発信
  - 加工品情報・農家レストラン探索マップの新規作成
  - 集落活動センターパンフレットの作成・配布
  - 中心商店街での特産品販売・PR活動 (H27年度1回、H28年度6回 (H28.11未現在))
  - ポータルサイト「えいとこうち」の充実
  - 広報番組 (広報広聴課) の放映
- 集落活動センター講演会・フォーラムの実施 (6月・2月)

### 拡充・確立

- 事業支援
  - 集落活動センター推進事業費補助金 (再掲)
    - ・整備事業、人材導入活用事業、経済活動拡充支援事業 (総額249,265千円(29地区)、うち経済活動拡充支援事業22,730千円)
  - 産業振興計画との連携強化
    - ・集落営農、複合経営拠点
    - ・特用林産物の活用 (シキミ・サカキ、マイタケ等)
    - ・遊漁・体験漁業、志国高知幕末維新博 等との連携
- 人材育成・確保
  - 集落活動センターテーマ別研修の充実
    - ・事業計画、財務、法人化等のテーマで開催
  - アドバイザーの派遣
    - ・事業計画具体化の支援を強化 (28回→59回)
  - 集落活動センター事務局 (高知ふるさと応援隊) 研修の実施
  - 研修に関するコンサル機能の強化
    - ・研修後の相談窓口を設置
- 集落活動センターのネットワークづくり
  - 集落活動センター推進事業費補助金 (再掲)
    - ・集落活動センター連絡協議会支援事業をメニューに追加
  - エリア別情報交換会などの開催

■集落活動センターの取り組みの強化等により、誰もが愛着のある地域で暮らし続けられる地域をつくる  
■さらなる周知と新たな地域の掘り起こしにより、集落活動センターの取り組みを県内全域に広げる

【これまでの取り組み】

◆平成24年度から鳥獣対策を抜本強化  
○集落ぐるみで取り組むモデル集落の育成  
・総合的な対策で被害をゼロにするモデル集落を育成し成功事例を構築  
(3年間で31集落を支援)

○鳥獣被害対策専門員による支援の強化  
・JAに配置した専門員による農家等への総合窓口としての体制強化  
○国の交付金等を活用した防護柵の設置

◆平成27年度からさらなる強化

①被害集落半減に向けた防除対策の強化  
・野生鳥獣に強い高知県づくりによる被害集落への支援(被害の深刻な1,000集落を半減⇒3年間で500集落を支援)

②鳥獣被害対策専門員を拡充し支援体制を強化  
・9JA10人⇒11JA15名

③国の交付金に加えて

④県の補助金によるきめ細やかな支援の実施



◆シカ捕獲目標3万頭の達成等に向けた捕獲の強化

①新規狩猟者の確保・育成

○新規狩猟者の確保  
・受験機会の拡大  
・経費負担の軽減  
・狩猟フォーラムによる啓発  
(目標:新規狩猟者年間500人の確保)



②捕獲の推進

○地域ぐるみでの捕獲の推進  
・くくりわなの無償配付  
(3年間で1,673集落に12,900個配付)  
○国・県の捕獲報償金による支援  
・有害捕獲や狩猟での捕獲の支援

○捕獲技術の向上

・わな猟の講習会  
・高知県版捕獲マニュアルの無償配付

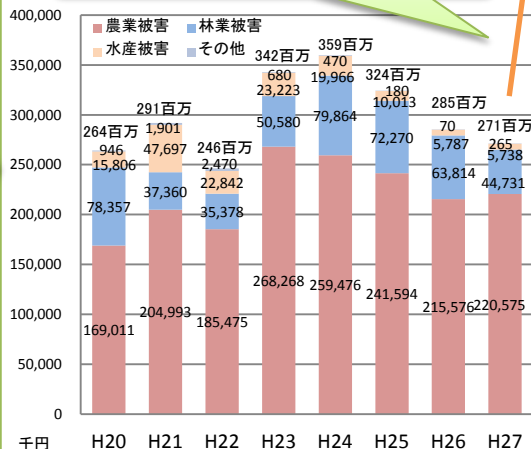
○山岳地など捕獲困難地での捕獲強化  
・深刻な森林被害や自然植生被害への対応を強化



【成果と課題】

野生鳥獣による農林水産被害額の推移

被害額は減少傾向にあるものの依然として3億円近い状況



被害額の約8割が農業被害

集落ぐるみでの取り組みが重要

野生鳥獣に強い高知県づくりの推進

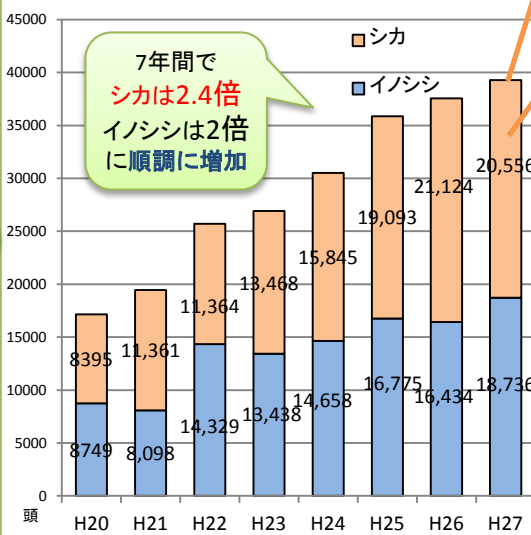
H27:175集落を支援  
◎147集落で合意形成(84%)

H28:183集落を支援

合意形成には時間が必要  
支援集落の無い空白地域の解消も課題

シカ・イノシシの捕獲頭数の推移

7年間でシカは2.4倍  
イノシシは2倍に順調に増加



シカ捕獲頭数の伸びが鈍化

シカの捕獲目標頭数3万頭に対して約7割

狩猟者の減少や高齢化  
わな猟の技術向上による捕獲頭数の底上げも課題



【目標達成に向けたさらなる強化】

◆被害集落半減に向けた防除対策の強化  
(被害集落半減目標(3年間で500集落の支援)の達成に向けた支援の加速化と支援集落の拡大)

①野生鳥獣に強い県づくり事業委託料 (9,033千円)

・支援集落の拡大と合意形成率の向上  
支援集落:183集落→230集落 合意形成率:84%→90%

②鳥獣被害対策専門員配置事業委託料 (54,680千円)

・支援集落の拡大と空白地域の解消のための体制づくり  
11JA, 15名 → 12JA, 20名

③鳥獣被害防止総合対策交付金 (435,996千円)(国費)

・集落ぐるみで設置する防護柵の支援で集落の合意形成を推進

④野生鳥獣に強い県づくり事業費補助金 (56,267千円)

・国交付金の要件を満たさない防護柵の設置へのきめ細かな支援  
・支援集落等へのきわなやサル捕獲用大型囲いなどを補助対象メニューに追加



集落ぐるみの防護柵設置を支援(合意形成を促進)

支援集落の拡大

合意形成の加速化

◆シカ捕獲目標3万頭の達成等に向けた抜本的な捕獲強化  
(新規狩猟者の確保と技術向上による捕獲頭数の上積み)

①新規狩猟者の確保・育成

◆森林地域シカ捕獲体験事業委託料 (2,984千円)  
・免許取得希望者等を対象にした狩猟体験ツアーの実施  
◆新規狩猟者確保事業費交付金 (5,850千円)  
・狩猟免許講習会受講料や射撃講習受講料の定額支援

◆わな猟捕獲技術向上事業 (3,353千円)  
・未登録狩猟者の参画を旨としたくくりわなの制作講習会

◆マイスター捕獲技術指導事業 (2,081千円)  
・マイスターによる初心者のマンツーマン指導の実施

◆狩猟技術伝承DVD制作事業委託料 (2,167千円)  
・名人の捕獲技術を効率的効果的に県内へ普及

②捕獲の推進

◆くくりわな捕獲推進事業補助金 (10,000千円)  
・地域や技術に応じた使い勝手の良いわなの購入を支援

◆指定管理鳥獣捕獲等事業 (10,868千円)  
・山岳地など捕獲困難地でのシカ捕獲の実施



シカ捕獲の新たな担い手確保

未登録狩猟者の参画を促進

わな捕獲の技術力アップ

守り

防除

(防護柵の設置などによる防除)

+

攻め

捕獲

(わなや銃による捕獲)



基本スタンス		<p>&lt;理念&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★公共交通ネットワークを地域社会の維持に最低限必要な社会インフラとしてとらえる</li> <li>★県民の日常生活をはじめ産業や中山間の振興を支える基本政策として、公共交通の活性化を強力に推進する</li> <li>★地域の実情に応じた持続可能な公共交通システムの確立を目指す</li> </ul>			<p>&lt;方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆今ある公共交通の有効活用に向けたモード間・事業者間の連携強化を支援する</li> <li>◆県民が安全安心で使い勝手の良さを実感できる取り組みへの重点支援を行う</li> <li>◆県民に公共交通を意識してもらうための啓発活動を強化する</li> </ul>		
基本の考え方	バス		路面電車	鉄道	四国の新幹線	航空	フェリー等
	地域公共交通再生の成功事例を創出			土佐くろしお鉄道及び阿佐海岸鉄道の将来を見据えた対応の検討	四国の鉄道高速化に向け、四国4県及び関係機関との連携や、県内における機運醸成のための取り組みを強化	航空ネットワークの維持・拡充のため、利用促進活動や誘致活動を強化	関係自治体との連携のもと、県内唯一のフェリー航路の維持へ取り組みを強化
県の役割	【都市部】利用者視点に立った分かりやすく効率的な路線の実現・維持 【中山間地域】「命をつなぐ手段」として効率的な路線の維持	バス等との連携による地域幹線として、また地域資源として維持	都市間ネットワークの主要幹線として、また地域に密着した路線として維持			既存路線（大阪線／福岡線／名古屋線）の維持、国内線LCC・国際線の誘致	既存航路の維持
わかりやすく使い勝手の良い公共交通の実現に向けた取り組みへの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域の交通維持支援事業費補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両更新、バス停整備</li> <li>・実証運行</li> </ul> </li> <li>◆公共交通基盤整備事業費補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICカード「ですか」の普及促進</li> <li>・バスロケーションシステムの普及促進</li> </ul> </li> <li>◆地域交通バリアフリー化推進事業費補助金(新規)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者や高齢者などが公共交通を利用しやすい環境を整備</li> </ul> </li> <li>◆公共交通多言語対応等推進事業費補助金(新規)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人の二次交通の円滑な利用に資する公共交通情報の多言語対応等を加速化</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆DMV導入事業費補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細設計(駅舎改築)、車両購入等</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆航空路線利用促進事業委託料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空路線の利用促進(本県及び路線のPR・誘客等)</li> </ul> </li> <li>◆航空路線利用促進事業費補助金(新規)</li> <li>・航空路線の利用促進</li> <li>◆航空利用促進協議会分担金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空路線の利用促進</li> </ul> </li> <li>◆空港連携推進事業分担金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知龍馬空港と松山空港が連携した四国西南地域への誘客促進</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆フェリー利用促進特別対策事業費補助金(拡充)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラック事業者の利用料金の軽減</li> </ul> </li> </ul>
路線の維持・確保への支援	安全確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆安全安心の施設整備事業費補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両検査(土佐くろしお鉄道)</li> <li>・施設整備(土佐くろしお鉄道)</li> <li>・南海トラフ地震対策(JR予土線(新規)、土佐くろしお鉄道)</li> <li>・車両設備、線路設備等の整備(とさでん交通)</li> <li>・軌道低床車両の導入(とさでん交通)(新規)</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国直轄空港整備事業費負担金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地造成(耐震化工事等)</li> <li>・滑走路改良(調査)</li> </ul> </li> <li>◆住宅騒音防止対策費補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空機による住宅騒音対策(エアコン設置等)</li> </ul> </li> </ul>	
	運行支援等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆バス運行対策費補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫補助路線の運行経費、車両減価償却費等</li> <li>・国の補助対象とならない広域的幹線の路線の運行経費</li> <li>・利用促進の取り組み</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆四万十市鉄道経営助成基金負担金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>H25～H29：12億円の1/2</li> </ul> </li> <li>・土佐くろしお鉄道中村・宿毛線運営協議会</li> <li>◆海陽町鉄道経営安定基金負担金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>H29～H33：3億5千3百万円の1/10</li> </ul> </li> <li>・阿佐東線連絡協議会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆航空需要予測調査事業委託料(新規)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・LCC等に関する航空需要予測調査</li> </ul> </li> <li>◆航空路線維持対策事業費補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・着陸料・航行援助施設利用料相当額</li> </ul> </li> </ul>	
広報・啓発等を通じた公共交通の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公共交通利用促進啓発事業委託料等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民への利用促進広報及び啓発等</li> </ul> </li> </ul>						
			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆鉄道等協議会負担金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・中村・宿毛線運営協議会</li> <li>・ごめん・なはり線活性化協議会</li> <li>・高知県予土線利用促進対策協議会</li> <li>・阿佐東線連絡協議会</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆四国鉄道活性化促進期成会負担金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・四国4県及び関係機関が連携しシンポジウム等を開催</li> </ul> </li> <li>◆四国の新幹線啓発事業委託料(新規)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内への効果調査及び啓発用資料の作成等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆航空路線利用促進事業委託料【再掲】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空路線の利用促進(本県及び路線のPR・誘客等)</li> </ul> </li> <li>◆航空路線利用促進事業費補助金(新規)【再掲】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空路線の利用促進</li> </ul> </li> <li>◆航空利用促進協議会分担金【再掲】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空路線の利用促進</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆フェリー利用促進特別対策事業費補助金(拡充)【再掲】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラック事業者の利用料金の軽減</li> </ul> </li> </ul>	
運輸事業の振興に資する事業を実施する団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆バス事業振興費補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス輸送力の確保等の取り組み</li> </ul> </li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>◆運輸事業振興費補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラック輸送力の確保等の取り組み</li> </ul> </li> </ul>

## 住民活動のさらなる活性化へ

新：新規事業

拡：拡充事業

改：手法改善

## H28 &lt;見直し（廃止）事業&gt;

## 2. 廃止

## ◆地域づくり支援事業費

①地域づくり支援事業費補助金  
（中山間地域対策課）

70,000千円（うち(一)70,000千円）

## ・目指した効果と得られた成果

①地域づくり支援事業、②広域的連携事業、③合併支援事業、④集落の力につなげる活動推進支援事業、⑤小さなビジネス支援事業の5つのメニューにより、公民館等の地域活動拠点、交流施設、地域資源を活用した加工場等を整備し、地域の活性化を促進

## 【これまでの実績】

H21～27年度 34市町村等、158件 438,510千円  
（栲原町越知面地区地域活動支援施設、439交流施設整備事業、奈半利町加領郷水産物開発・加工施設整備事業等）

## ・見直し理由

喫緊の課題である集落の維持・再生に、より焦点を当てた事業の再構築を行い、集落活動センターの取り組みへのステップアップや地域アクションプランにつながる取り組みを促すことで、中山間地域の持続的な発展を目指す。

見直し

## H29 &lt;課題解決先進枠等&gt;

## 集落活動の活性化

新

集落の活力創生事業費補助金  
（中山間地域対策課）35,000千円  
（一）35,000千円

## ・事業概要：

産業振興計画の成長戦略等の取り組みが届きにくい小規模な集落などの活力を創生し、集落活動センターの取り組みへのステップアップや地域アクションプランにつながる取り組みを促すため、住民が主体となって取り組む集落の活性化や、経済活動の推進等に係る経費を支援する。

## ①集落活動活性化事業

補助先：市町村等

補助率：定額

補助限度額：500千円以内

補助対象：ワークショップの開催や先進地視察、加工機器の整備やショーケースの設置などの新たな集落活動の初動時に要する経費

## ②集落の活力創生事業

補助先：市町村等

補助率：1/2以内

補助限度額：20,000千円以内

補助対象：特産品加工施設や食肉加工処理施設の整備、農家レストランの改修などの地域活動の拡大時等に要する経費

見込まれる成果  
（当該年度）

・集落活動センターの仕組みづくりを考える地域運営組織（自治会等）が増える  
・地域アクションプランを目指す集落が増える  
・地域づくり事業に取り組む集落が増える

## 【参考】

H31年度末

集落活動センターの開設数80カ所

# 安全安心の施設整備事業費補助金(南海トラフ地震対策)

交通運輸政策課  
平成29年度当初予算 42,277千円  
3,277千円(一)、39,000千円(債)

## H29年度事業概要

### 土佐くろしお鉄道 (予算額: 39,611千円)

- 隣接民家等に影響を及ぼす高架橋の耐震対策  
ごめん・なはり線(5箇所)  
□対策箇所: 第二赤岡高架橋等(耐震工事)  
□事業費: 74,283千円  
(県負担額: 24,761千円)  
□負担割合: 国1/3、県1/3、市町村1/3

- 隣接民家等に影響を及ぼす高架橋の耐震対策  
中村・宿毛線(1箇所)  
□対象箇所: 第二右山高架橋(耐震工事)  
□事業費: 44,550千円  
(県負担額: 14,850千円)  
□負担割合: 国1/3、県1/3、市町村1/3

### JR四国(予土線) (予算額: 2,666千円)

- 緊急輸送道路と交差・平行する橋梁の落橋対策  
予土線(4橋梁)  
□対策箇所: 四万十市、四万十町各2箇所(落橋防止工事)  
□事業費: 16,000千円  
(県負担額: 2,666千円)  
□負担割合: 事業者1/3、国1/3、  
高知県1/6、市町村1/6



### 土佐くろしお鉄道

対策区分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度以降
落橋対策	隣接民家等に影響する橋梁				
	設計(1橋梁)	設計(1橋梁) 工事(1橋梁)	工事(1橋梁) ※計画している橋梁の落橋対策完了予定		
高架橋の耐震対策	緊急輸送道路と交差・平行する高架橋			隣接民家等に影響する高架橋	
	工事(4箇所)	工事(1箇所)	工事(4箇所) ※緊急輸送道路と交差・平行する高架橋の耐震対策完了予定	工事(6箇所)	H38年度の完了を目指し、順次実施
駅舎の耐震対策	中村駅の耐震工事を実施				

### JR四国

対策区分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度以降
落橋対策	H22年度までに、 <u>土讃線</u> の 県内区間の対策は完了	(県内区間の実施なし)	(県内区間の実施なし)	緊急輸送道路と交差・平行する予土線の落橋対策工事(4橋梁) ※計画している橋梁の落橋対策完了予定	

※ 国土交通省の耐震基準に基づき、JR四国が保有する高架橋及び駅舎(高知駅)は整備済み